



病院ボランティア表彰式・感謝状贈呈式を行いました

当院では、患者さんがより快適な環境で安心して治療を受けていただけるよう、玄関ホールでの案内や環境整備、患者図書室「ふらっと」の補助、コンサート等、様々な場面で個人および団体のボランティアの皆様にお世話になっています。

平成28年12月21日(水)、1年間にご尽力いただきました、16団体の代表と16名のボランティアの皆様に、井川病院長から表彰状並びに感謝状の贈呈がありました。

贈呈式終了後は懇談会が行われ、様々な提案や意見をいただきました。

当院では、新たにボランティアをしてくださる方を募集しています。お気軽にお問合せください。

問合せ先 **医療サービス課 ボランティア担当** TEL 0853-20-2068

島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

1月15日～2月14日

対象者: **一般** 一般市民 **医療** 医療関係者 **本学** 本学教職員・学生

開催日	時間	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者	主催者
1/15(日)	9:30～11:30	平成28年度 島根県がんピアサポーター相談会	外来・中央診療棟3階 カンファレンスルームだんだん	一般	がん患者・家族が・ヒカ-
1/21(土)	17:45～19:00	第19回出雲リハビリテーション研修会 「脳卒中後遺症に対する経頭蓋磁気刺激療法～自験例から」	出雲医師会館	医療 本学	リハビリテーション部
1/22(日)	13:00～16:00	神在りの園 がんメディカルカフェ＊予約制 (開催1週間前までにお申込が無い際は中止といたします)	みらい棟4階キ ャラクシ-	一般	がんプロフェッショナル 養成基盤推進プラン
1/23(月)	15:00～16:00	第5回誰でも参加できる糖尿病教室 (1)「誤解だらけ?インスリン注射ほんとの話」 (2)「やせてるのに糖尿病?～糖尿病のいろいろな原因～」	外来・中央診療棟3階 カンファレンスルームだんだん	一般	糖尿病ケア サポートチーム
1/30(月)	18:00～19:30	平成28年度 臓器移植セミナー「オプション提示」の勘違い 「移植医療に関する情報提供」からはじめよう	みらい棟4階キ ャラクシ-	一般 医療 本学	医療サービス課
2/4(土) 2/5(日)	8:30～16:30 8:30～17:00	認知症看護対応力向上研修(認知症ケア加算2対応研修)	看護学科	医療	看護学科
2/4(土)	10:00～16:30	平成28年度 島根県がん相談員等中央研修会	島根県立中央病院3階 会議室1	医療	がん患者・家族が・ヒカ-
2/8(水)	9:30～11:30	平成28年度 島根県がんピアサポーター相談会	浜田医療センター 2階講義室①と②	一般	がん患者・家族が・ヒカ-

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



NEWS



CONTENTS

- ・ 年頭のごあいさつ 2017
- ・ 山口清次名誉教授がベトナム保健省から「ベトナム国民健康勲章」を授与されました
- ・ 病院ボランティア表彰式・感謝状贈呈式を行いました
- ・ 島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

年頭のごあいさつ 2017

病院長 いがわ みきお 井川 幹夫

明けましておめでとうございます。昨年も地域の医療機関から多くの患者さんをご紹介いただき、誠に有難うございました。心より御礼申し上げます。本年も大学病院としてのミッションを果たすために、先進的医療・高度医療の提供、がん医療、急性期医療、救急医療の充実、優れた医療人の養成等を継続的に進めます。

県内唯一の特定機能病院として、特に心血管疾患、脳神経疾患に対する高度医療を実施し、一方では先進医療の承認件数と実施件数の増加を図ります。母体血を用いた胎児の出生前染色体検査、重症喘息に対する「気管支サーモプラスティ」療法などを実施します。医療機器を整備し、拡充した周産期医療部門をフル稼働させ、周産期母子医療センターとしての役割を十分果たしたいと思っております。難病総合治療センターによる包括的な診療、アレルギーセンターが多様なアレルギー疾患に対する組織横断的な治療を行います。

救急医療では、2016年度に設置した高度外傷センターを核として、県全域を対象とした外傷救急を充実させます。2017年度は高度外傷センター所属医師7～8名、救急科医師3名、内科系派遣医師2名、計12～13名の医師で救命救急センターの診療に当たります。7月には高度外傷センター棟も竣工し、ハイブリッド手術室、通常手術室2室が稼働可能となり、重症外傷患者に対する診療レベルを一段と向上させることができます。

がん医療では、当院が県内拠点病院のハブ機能を果たすため、血液がんに対する Precision Medicine の開始、希少がん外来の継続、肉腫、悪性脳腫瘍など治療法が十分に確立されていない症例について院内がんボードで治療方針を決定する機能を高めます。ロボット手術支援システムのダ・ヴィンチを用いた早期胃がん、子宮頸がん、前立腺がん、腎がんの手術、3D 腹腔鏡による精緻な消化器外科手術、他に妊孕性を温存した子宮頸がん手術も実施しています。手術に加えて新規薬剤による化学療法、IMRT など高水準の集学的がん治療を推進し、県全体のがん医療水準の向上に努力を重ねます。

本年も、地域の医療に一層貢献できる病院となるために日々改善に努める所存ですので、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



山口清次名誉教授がベトナム保健省から「ベトナム国民健康勲章」を授与されました

小児科 教授 たけたに たけし 竹谷 健

2016年11月4日に開催されましたベトナム小児科学会で、山口先生は、新生児医療が問題となっているベトナムでの長年の難病の診断や治療への貢献が認められて、ベトナム保健省から「国民健康勲章」を授与されました。

山口先生は、先天代謝異常症研究の第一人者として、約30種類もの代謝異常症の赤ちゃんを早期に診断する、タンデム型質量分析計による新生児マススクリーニングを2014年度より日本全国に導入されました。その結果、これまで診断がつかなかった多くの先天代謝異常症の子どもたちの命を救うだけでなく、病気の発症を予防することにもつながっています。その中で、アジアの子どもたちにも役立ちたいという思いから、先天代謝異常症の診断をすることができなかったベトナムに注目されました。初めてベトナムを訪れた2005年当初は、アジアを中心に猛威を振るっていた新型肺炎(SARS)がベトナムでも流行していたため、自分の命も顧みず、現地に向かい、ベトナムの先天代謝異常症の子どもたちの診療に取り組みされました。以降12年間、ベトナムから赤ちゃんの検体約6,000件が当院に送られ、264人が代謝異常症と診断されました。ベトナムの医師たちは、それまで診断できなかった稀少疾患が見事に診断されることを体験して、自国で診断できる体制構築の機運が高まり、ベトナムでも山口先生が開発されたタンデム型質量分析計による新生児マススクリーニングが始まろうとしています。

この山口先生の取り組みを我々島根大学医学部小児科は誇りに思い、そして心に留めて、今後もアジアの子どもたちの医療の発展に尽くしたいと思います。





ご報告

WLB川柳表彰式および作品紹介

ワークライフバランス支援室 室長 かんだ まりこ
神田 眞理子

当院は、ワークライフバランス(WLB)を重視した働きやすい職場づくりをめざしています。平成18年「女性にやさしい病院WG」を発足し、平成22年度からは「ワークライフバランス支援室」と改称し、医学部・医療技術職員等多職種の職員をメンバーに、職種・性別の区別なく、すべての職員が働きやすく、キャリアアップができる病院作りをめざして活動しています。

その活動の一環として、内閣府が勤労感謝の日(11月23日)をWLBの日とし、その日を中核とした1週間を『WLB週間』と提唱していることを受け、ワークライフバランス支援室と看護部が協賛し、平成26年度から職員全員で働き方について考える1週間としました。具体的な取り組みのひとつに「WLB川柳」を職員から募集し、全応募作品を掲示し職員全員で優秀作品を投票し、最終的に各賞を決定しています。今年度は「WLB川柳」と新たに「わたしの愛する家電」も募集しました。そして11月29日(火)にWLB川柳表彰式を開催し、井川病院長から受賞した10名の職員へ賞状と記念品が手渡されました。

今後も働きやすい職場環境の取り組みを行い、組織の中で求められ、そして地域の中で求められる職員として活躍できる病院をめざしていききたいと思います。



WLB川柳優秀作品一覧

- ◆井川病院長賞
尿酸値 気にしながらも 空くジョッキ
- ◆山口医学部長賞
睡眠中 子をだきしめて 充電中
- ◆木下副病院長賞
6時の尿測 しゃがむと床に しりもち
- ◆森田副病院長賞
家事全て こなして知った 妻の苦勞
- ◆齊藤副病院長賞
ありがとう もらえるだけで 良い目覚め
- ◆後藤事務部長賞
将来を 夢見て育てる 我が子と新人
- ◆看護部PNS推進委員会賞
孤独死の ニュースを見ては 嫁探し
- ◆WLB支援室賞
「食べましょう」言うのに自分は ご飯抜き

「わたしの愛する家電」写真優秀作品

- ◆神田副病院長賞
20年愛用の
電子レンジ写真



お知らせ

地域医療セミナーを実施中です!

地域医療支援学講座 准教授 さの ちあき
佐野 千晶

平成23年度から地域医療支援学講座では、「地域医療セミナー」を実施しています。全国で地域医療を盛り上げている方々を講師としてお招きしています。

島根県内外の地域医療の現場で輝いている医師はもちろんのことですが、薬剤師、看護師、救急救命士、NPO、住民活動のリーダー、公衆衛生、行政、災害医療、出雲文化など幅広い領域からの企画をしています。講演では、授業とは一味違うリアルな声をお聞きすることが出来る上に、質問も気軽にできる双方向性の講演です。当セミナーは、地域医療への関心・モチベーションの維持・向上につながっていくことを目的とし、学生だけでなく、職員並びに学外医療関係者の参加を歓迎しています。是非、career@med.shimane-u.ac.jp に参加の連絡をして足を運んで下さい。



平成28年度 地域医療セミナー講師一覧

- 平成28年 4月22日(金) 齊藤 捻 哲 気仙沼市立本吉病院(宮城県)
- 平成28年 5月17日(火) 熊谷 岳文 ファーマシーすこやか薬局(出雲市)
- 平成28年 6月29日(水) 白石 吉彦 隠岐島前病院
- 平成28年 7月 8日(金) 小早川 義貴 国立病院機構災害医療センター(東京都立川市)
- 平成28年 9月15日(木) 江田 芳美 江田クリニック産婦人科
- 平成28年11月17日(木) 和足 孝之 卒後臨床研修センター(島根大学)
- 平成28年12月16日(金) 小川 信 国民健康保険大和診療所(鹿児島県大島郡大和村)
- 平成29年 1月20日(金) 太田 龍一 雲南市立病院





お知らせ

島大病院ニュース 2017年1月

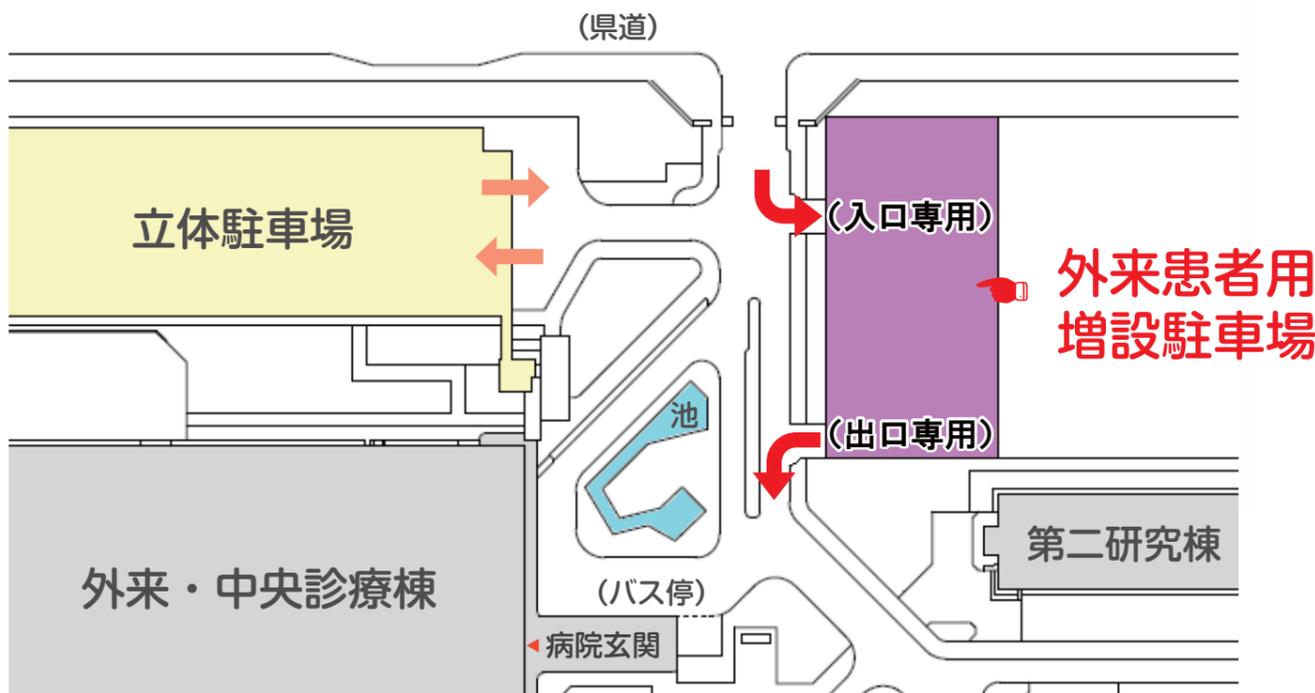


患者さん専用駐車場整備について

外来患者さんの駐車場の収容台数が不足したため、平成26年度末、外来棟北側立体駐車場と外来棟の間に、46台分の駐車場を整備しましたが、最近の外来患者さんの増加等に伴い、現状の駐車台数でも不足が生じる状態となったため、この度、正門東側の空き地と一部職員用駐車場を取り込み、新たに患者さん専用駐車場75台分を整備し、合わせて625台の収容が可能となりました。

病院正門からの中央南北道路を渡って頂く必要はありますが、外来玄関にも比較的近いため、患者さんの利用には良い環境となっています。

また、駐車のご心配頂くことなく来院いただける環境をつくるため、今後も改善に取り組んでまいります。



ご報告

島大病院ニュース 2017年1月



産学連携により「可搬型折りたたみ式採血台」が開発されました

検査部 臨床検査技師長 みしま せいじ
三島 清司

当院では、出雲木工(株)、(株)テクノメディカと共同して、「可搬型折りたたみ式採血台」を開発し、2016年11月から検査部において使用をはじめました。

検査部において外来患者さんの採血待ち時間短縮は大きな課題です。患者さんが集中するピーク時は運用面だけでは解決が難しく、採血台を増設する以外に根本的な時間短縮策はありません。しかし、固定式の採血台を最大患者数に合わせて設置すると多くの時間帯は使用しない採血台が生まれ、費用や設置スペース占有の面において無駄が生じます。これまでも簡易式の採血台で対応してきましたが、安全性やプライバシーの面で問題がありました。そこで、必要な時に取り出し、不要な時は片づけられ、しかも固定型と同等の安全対策やプライバシーへ配慮した採血台があればこれらの問題を解決できると考えました。

市販品にはこれらの条件を満たす製品がなかったため、2014年8月より産学連携による共同研究を進め、「可搬型折りたたみ式採血台」を2016年11月に開発しました。

この採血台では、上記の機能以外にもキャスター付きで女性スタッフでも移動でき、患者番号表示機能を搭載しています。使用しない時は折りたたんで小さなスペースに収納することができます。

これにより、患者さんのプライバシーに配慮した、より安全な採血が可能となりました。採血スタッフにとっても採血に必要なスペースが確保され、固定式採血台と同様の手順での採血ができます。さらに台数を増やすことにより採血待ち時間短縮を図り、患者さんおよび採血スタッフの満足度向上につなげたいと考えています。

この採血台は今後、(株)テクノメディカから販売予定です。



設置時

わずか1分で、十分な採血作業スペースとタブレットPCを利用した患者認証機能を装備し、待合スペースから採血の様子が見えないように患者プライバシーにも配慮した採血台を設置可能。



収納時

使用しない時は省スペースで収納可能。
縦143×横95×奥行16 (cm)
重量44Kg



採血風景

番号表示による患者呼出機能も装備され、固定式採血台と同等の機能と安全性を有する。

お知らせ
島大病院ニュース

平成29年1月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



ご報告
島大病院ニュース

平成29年1月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





ご報告



「第9回 患者さんの視点に立った医療を考える委員会」を開催しました

平成28年12月8日(木)、「第9回 患者さんの視点に立った医療を考える委員会」を開催しました。冒頭、病院長より「毎回この委員会でもいただいた貴重なご意見を病院運営に反映し、様々な改善をしてきました。本日も忌憚のない意見をいただき今後活かしたいと思います。」との挨拶がありました。議事に入り、委員からアンケートの回答に性別の記載は不要ではないかとの意見が出され、論議を重ねた結果、性別の記入については任意とする旨を付け加えることとしました。また他の委員からは、



委員会の様子

「ポリプ除去後の検査に時間がかかり不安な思いをしたが、それは前回手術したところやその周りを丁寧に観ているからだということがわかり大変嬉しく思った。検査の説明書等に術後の検査は時間がかかる旨記載しておいてはどうか。」との意見もありましたが、病院長からは、手術の内容により必ずしも時間がかかるわけではなく、それよりも検査を行う医師がきちんと説明をすることにより不安を取り除くことができるので、周知していきたいと思うとの回答がありました。

また、お配りした“患者満足度向上WG議事要旨”等の資料を読まれたり、病院長からの説明を聞かれた外部委員の方々からは、「病院からの回答について、一つ一つの意見に対して真摯に取り組む姿勢や回答文書に相手への思いやりが感じられ、とても感心した。」「改善の要望が出ている場所については、全てラウンドし改善策を見出そうとされていることに驚いた。」等の評価をいただきました。

これを受けて病院長より、「今後も皆さんからのご意見により、当院をより一層地域の皆様に愛される病院にしていきたいと思っております。」との思いが語られました。



ご報告



島大病院は職員の婚活を応援します！

当院は「しまね縁結びサポート企業」に登録しています。これは、島根県の委託により一般社団法人しまね縁結びサポートセンターが実施している事業で、島根県内の105企業・団体等(平成28年12月20日現在)が参加して、職場のつながりを活かして職員の婚活を後押しするものです。多くの医療機関も参加しており、病院間の交流からカップル誕生につながればと期待しています。

当院では、しまね縁結びサポートセンター等が実施する婚活イベント等の情報をワークライフバランス支援室のスタッフが職員へメールで周知しています。また、縁結びボランティア「はびこ」やしまね縁結びサポートセンターについての情報も職員にお知らせしています。詳細をお知りになりたい方は、ワークライフバランス支援室にご相談ください。

「日々の業務に追われ、出会いがない…」、「まずはお知り合いになるところから始めたい!」という職員も多いはず。気負わずに参加してみたら、思いがけず良いご縁にめぐり会うかもしれませんね。



「職員の婚活を応援するぞ!」と意気込む井川病院長



「しまね縁結びサポート企業」のロゴマーク

※「はびこ」とは…「島根はっぴいこーでいねーたー」の略称で、婚活を希望する男女にお見合いや出会いイベントの実施、情報提供などを行うボランティアのこと。

詳しくはしまね縁結びサポートセンターのHPをご覧ください。

<http://www.shimane-enmusubi.com/>

担当部署

ワークライフバランス支援室
TEL : 0853-20-2534
メールアドレス :
wlb@med.shimane-u.ac.jp





ご報告



クリスマスツリーを飾り付けました

病院的待合ホールでは、患者さんにクリスマスの雰囲気をお楽しみいただけるよう、毎年12月にクリスマスツリーを飾っています。

去年の12月には3メートルを超えるツリーを新調し、カラフルなモールやイルミネーション、出雲市立第三中学校のみどり・オレンジ学級の生徒さん手作りの、フェルト製のかわいらしい作品もツリーに色を添えました。飾り付けは小児センターに入院中の子供さんにも手伝ってもらい、それは素敵なツリーが完成しました。また、病院南側庭園には、学生さんによるイルミネーションも登場し、冬の夜のひと時を、サンタやトナカイなどの光が彩りました。

12月16日19時から開催された島根大学混声合唱団によるボランティアコンサート、「Happy😊クリスマスコンサート」に華を添えました。

年末の忙しい毎日に、患者さんやそのご家族の皆さんに、少しでもいやしのひと時をお届けできたのでは、と思います。



ご報告

『認定がん相談支援センター』に認定されました

がん患者・家族サポートセンター 副センター長 まきはら たかこ
横原 貴子

今年度より、国立がん研究センターによる「認定がん相談支援センター」認定事業が開始され、当院がん患者・家族サポートセンター（以下当センター）が認定を受けました。

この認定には、2名の「認定がん専門相談員」の配置が求められております。当センターの相談員2名は、昨年度この認定を受けたことから、「認定がん相談支援センター」の要件を満たすことができました。

また、当センターは、県内のがん相談支援の統括的役割も担っています。この認定事業の目的でもあるがん相談支援機能の充実と相談対応の質の担保・向上のため、県内各病院がん相談支援センターとの連携をより一層深めたいと思います。

当センターでは、以下のような様々な相談に対応しています。がん患者さん・ご家族の不安や気がかりが少しでも軽減され、「その人らしい」暮らしを実現することをめざし相談支援に取り組みます。



がん患者・家族サポートセンター（認定がん相談支援センター）は、「こんなことが知りたい、相談したい時にご利用ください」

- がん、治療の一般的な情報
- セカンドオピニオンについて
- 医療費のこと
- 緩和ケアについて
- 不安な気持ちを聴いて欲しい
- 治療と仕事の両立に不安がある
- 療養生活が心配
- アスベスト健康被害に関すること
- がん体験者と話したい
- などなど・・・

お気軽にお問い合わせください 相談時間：平日8:30～17:00

問合せ先 **がん患者・家族サポートセンター** 電話：0853-20-2518

相談は無料です
医療機関は問いません
プライバシーは守ります





お知らせ

第13回島大総合医セミナー

飯塚病院 総合診療科

清田雅智先生を招いて

この度、第13回島大総合医セミナーを開催致します。前回に引き続き、飯塚病院総合診療科 清田雅智先生をお招きしてレクチャーと症例検討を行ないます。多数のご参加と活発な討論をお願い致します。

参加費 無料
事前申し込みは不要です。



みらい棟玄関

みらい棟玄関(立体駐車場側)からお入り下さい。
西門から入られると右手に駐車場があります。

平成29年

2月4日(土)

16:30~19:30

ギャラクシー(みらい棟 4F)

司会:和足 孝之 先生(卒後臨床研修センター助教)

1. レクチャー

『Narinsに学ぶ酸塩基平衡』

90分

2. 症例検討

90分

※ 2月4日のセミナーは島根県医師会指定の生涯教育講座 **3** 単位 です。

2月5日(日) 9:00~12:00

・ER実地研修

今回も当院ERに於いてwalk in patientを対象とする実地診療指導を行ないます。
要領は4日のセミナー時に説明します。

本セミナーは、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業“リサーチマインドを持った総合診療医の養成”」の一環として、継続的に開催いたします。島根における総合診療・救急医療のさらなる発展を目指して皆様のご意見、ご提案をお寄せください。

主催:島根大学医学部附属病院 / 島根大学医学部医師会

問合せ先 卒後臨床研修センター 0853-20-2006

お知らせ

島大病院ニュース

平成29年1月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

